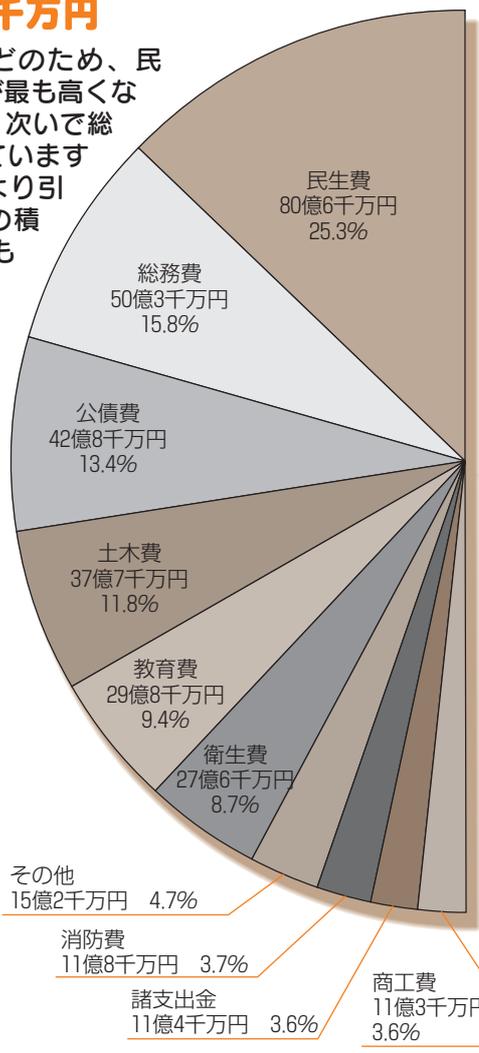


一般会計決算の内訳

歳出 (市から出ていくお金)

318億5千万円

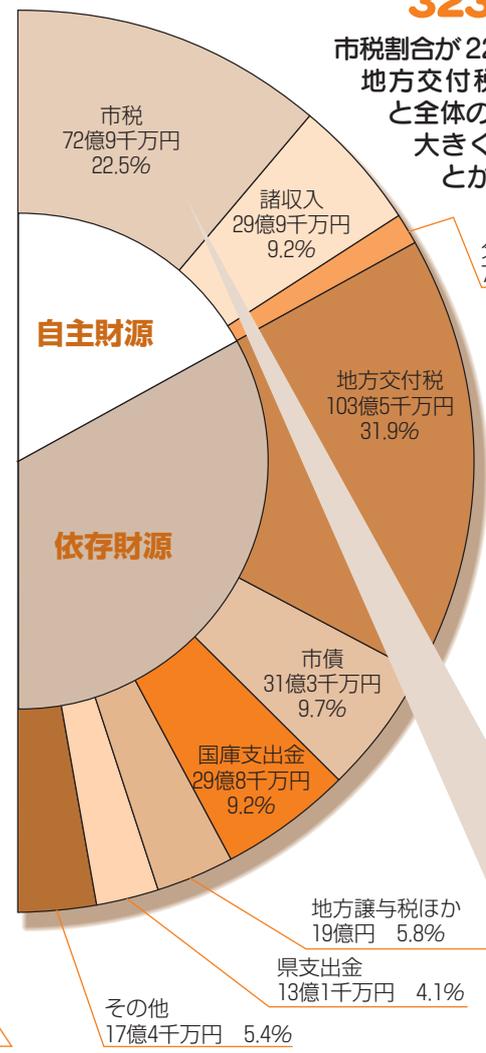
福祉事業などのため、民生費の割合が最も高くなっています。次いで総務費となっていますが、合併により引継いだ基金の積立金によるものです。



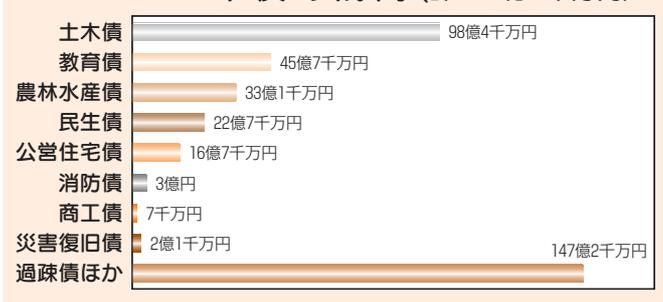
歳入 (市に入ってくるお金)

323億9千万円

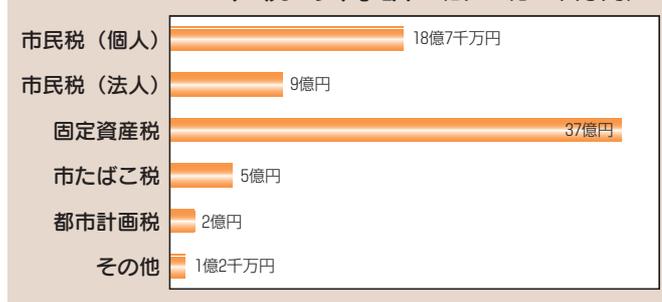
市税割合が22.5%なのに対し、地方交付税割合は31.9%と全体の約1/3を占め、大きく依存していることがわかります。



市債の残高 (計369億6千万円)



市税の内訳 (計72億9千万円)



<p>公債費 50,825円 市債(借金)の返済に使われました</p>	<p>総務費 59,777円 財産管理や選挙、電算運用費などに使われました</p>	<p>民生費 95,844円 高齢者や障害者、児童の福祉などに使われました</p>	<p>市民 1人当たりの歳出内訳</p> <p>1人当たりの歳出 378,490円 (平成18年3月31日現在の)人口84,148人</p>
<p>衛生費ほか 91,900円 検診やごみ処理の経費、消防や観光施設の運営費などに使われました</p>	<p>教育費 35,370円 幼稚園や小中学校、公民館等の運営費に使われました</p>	<p>土木費 44,774円 建物や道路の建設、公園の管理などに使われました</p>	